

平成25年6月6日

桑名市長
伊藤 徳宇 殿

地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会

委員長 豊田 長康



今般の新病院整備事業費の見直しについて（意見）

標記については、本年5月31日に開催された本委員会において、説明を聴取した上で、慎重に審議した。その結果に基づき、下記のとおり、本委員会としての意見を提出する。

記

1. 今般の新病院整備事業費の見直しは、その経緯に関しては、唐突な印象であるが、その内容に関しては、大規模災害に対応可能な施設整備、患者の療養環境に配慮した施設整備及び小児・周産期医療の充実という観点に照らし、地域医療の再生に資する新病院の整備のために必要不可欠なものとして、十分理解できるものであること。
2. 新病院整備事業費に係る病院事業債等については、地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「センター」という。）の損益に関する試算（平成24年度見込に基づく平成27年度推計）等を勘案すると、センターが現在の経営努力を継続する限り、センターによる償還が可能であるものと見込まれること。
3. 地域医療の再生に向けては、新病院における医療機器の整備も、重要であることを踏まえ、センターにおいては、より一層のコスト削減など、更なる経営努力を積み重ねることにより、市民に対するサービスの向上に最大限に取り組まれないこと。